

施設整備計画

都道府県名	京都府
市町村名	宇治市

- 1 計画名称 宇治市公立学校施設整備計画
- 2 計画作成主体 宇治市
- 3 計画期間 平成 26 年度 ~ 平成 28 年度

4 域内の公立の義務教育諸学校等施設の整備状況について

保有校数及び耐震化の状況等 (H26.4.1現在)

保有校等	域内全棟数 (a)	(a)のうちS56年以前に建設された棟			
		(b)	耐震診断実施率	うち耐震性のある棟	うち耐震性の無い棟
小学校 22 校	89 棟	64 棟	100 %	63 棟	1 棟
中学校 10 校	62 棟	29 棟	100 %	28 棟	1 棟
高等学校 校	棟	棟	%	棟	棟
特別支援学校 校	棟	棟	%	棟	棟
幼稚園 4 校	4 棟	4 棟	100 %	4 棟	0 棟
学校給食施設					
単独校調理場 20 箇所					
共同調理場 箇所					
スポーツ施設					
学校水泳プール 25 箇所					
学校武道場 7 箇所					
社会体育施設 3 箇所					

その他、特記すべき状況・課題

本市の児童・生徒数は、昭和40年代に入って急激な増加を続けてきたが、昭和50年代後半から60年代をピークに減少に転じ、最近では一部の小学校で児童数が微増しているものの、全体としては減少している。

昭和40年以降、新設校の建設や既設校の増築を進め、小学校は14校、中学校は7校の新設を行ったが、それらの大半が築40年以上を迎え、校舎等の老朽化対策や長寿命化対策が課題となっており、平成20年度策定の「第2次学校施設整備計画」に基づき、トイレ改修、ライフライン改修等を順次進めている。

5 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標について

地震、津波等の災害に備えるための整備

校舎・体育館の耐震補強工事については、平成18年度策定の「学校施設の耐震化方針」に基づき、改築により耐震化を図る2棟を除き、25年度までに完了した。残る2棟についても、28年度までに完了する見込である。また、非構造部材の耐震化については、災害時に避難所となる各小中学校の体育館・武道場について、26年度に点検、27年度に設計、28年度以降に対策工事を予定している。

(目標耐震化率の設定)

学校区分	耐震性の無い棟		計画期間中に耐震化を図る棟数			耐震化事業実施による耐震化率の目標(%)	
		うち、Is値0.3未満等の棟数		うち補強	うち改築	(現状)	(目標)
小学校	1棟	0棟	1棟	0棟	1棟	98.9%	100.0%
中学校	1棟	0棟	1棟	0棟	1棟	98.4%	100.0%
高等学校	棟	棟	棟	棟	棟		
特別支援学校	棟	棟	棟	棟	棟		
幼稚園	棟	棟	棟	棟	棟		

防犯対策など安全性の確保を図る整備

児童・生徒の安全性の確保を図るため、平成13・15年度に各小中学校、幼稚園の正門と職員室間にインターホン、また正門及び通用門に監視カメラ及び人感・音感ライト、職員室にモニター、タイムラプスビデオ(デジタルレコーダー)及びセキュリティコントローラー等を整備、また19年度には、市内全小・中学校及び幼稚園において、各教室から職員室への緊急連絡が可能となる「緊急通報システム」を新たに整備し、一層の防犯対策を行っている。現行法令等の規定に適合させるための改造工事として、27年度に1小学校で防火扉改修工事等を実施する。

教育環境の質的な向上を図る整備

教育環境の質的な向上を図るため、小・中学校普通教室等への空調機設置工事を26年度に全校で完了する。引き続き、2小学校・2中学校でトイレ改修、中学校・幼稚園の進入路へのバリアフリー対応のスロープ設置工事等を進める。

施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

施設の特性に配慮した教育環境の充実を図るため、小倉小学校給食室の改築及び宇治中学校体育館跡地にサブグラウンドの整備を実施する。

6 5の目標を達成するために必要な整備事業について

(様式2、3)

7 5の目標に対して行う事後評価について

計画初年度に、関係各課を含めて最終目標達成に向けた各年度毎の目標を確認するとともに、計画期間経過後にその目標達成率を検証し、次期計画に反映させる。そして、その結果等を、ホームページ等で公表する。